



エントランスポール

Archi Frame
アーキフレーム

Panasonic®

施工説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

● 施工開始前に必ずお読みください

安全な工事をするために、この施工説明書に基づいて設置してください。

施工終了後は、取扱説明書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



分解禁止

してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

商品の施工は、施工説明書に従い確実に行う

- 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止

商品の仕様および用途変更・改造は絶対にしないでください。

- けがの発生や事故のおそれがあります。



注意



必ず守る

■ LEDユニットの、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種（第3種）接地工事を必ず実施する

- 感電事故のおそれがあります。

■ 主電源を切ってから施工を行う

- 感電のおそれがあります。

■ ポール下部の水抜き穴はふさがらない

- 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

■ 施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する

- ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。

■ 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行う

- けがのおそれがあります。

施工上のご注意



禁止

- 通行の妨げとなる場所への設置は禁止
 - けがの原因となります。
 - ※特に扉・宅配ボックスの扉を開いた時に道路や通路の通行の妨げにならないようご注意ください。
- 商品へのぶら下がり禁止
 - けが・故障の原因となります。
- 固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。
 - 表面に傷をつけますと、腐食の原因となります。
- モルタル急結剤、海砂などの使用は禁止
 - アルミの腐食促進作用があります。
- ホースによる直接の水洗いは禁止
 - 故障の原因となります。
- 施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用禁止です。
 - 腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。



必ず守る

- 基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。
 - 強度不足によりけがのおそれがあります。
- 商品に付着したリシンやモルタル・コンクリートなどは速やかに清掃してください。
 - 塗装がはげたり、腐食の原因となります。
- アルミ製品に銅板やラスなどの異種金属が接触しないように絶縁処理をしてください。
 - アルミの腐食促進作用があります。
- ポール内への水溜まり防止のため、基礎部に栗石を敷いてください。
 - 電気部品の故障の原因となります。

目次

安全上のご注意……………表紙

施工上のご注意・同梱部品……………2

製品納まり図……………3

施工を始める前に……………4

施工手順（ポール本体の施工/Fタイプを除く）…5

施工手順（ポール本体の施工/Fタイプのみ）…6

施工手順（LEDユニットとの結線）……………7

施工手順（LEDユニットとの結線）……………8

施工手順（〈カメラ〉ドアホン子器への配線）…9

施工手順（ポスト/宅配ボックスの取り付け）…9

施工手順（オプションの取り付け）……………12

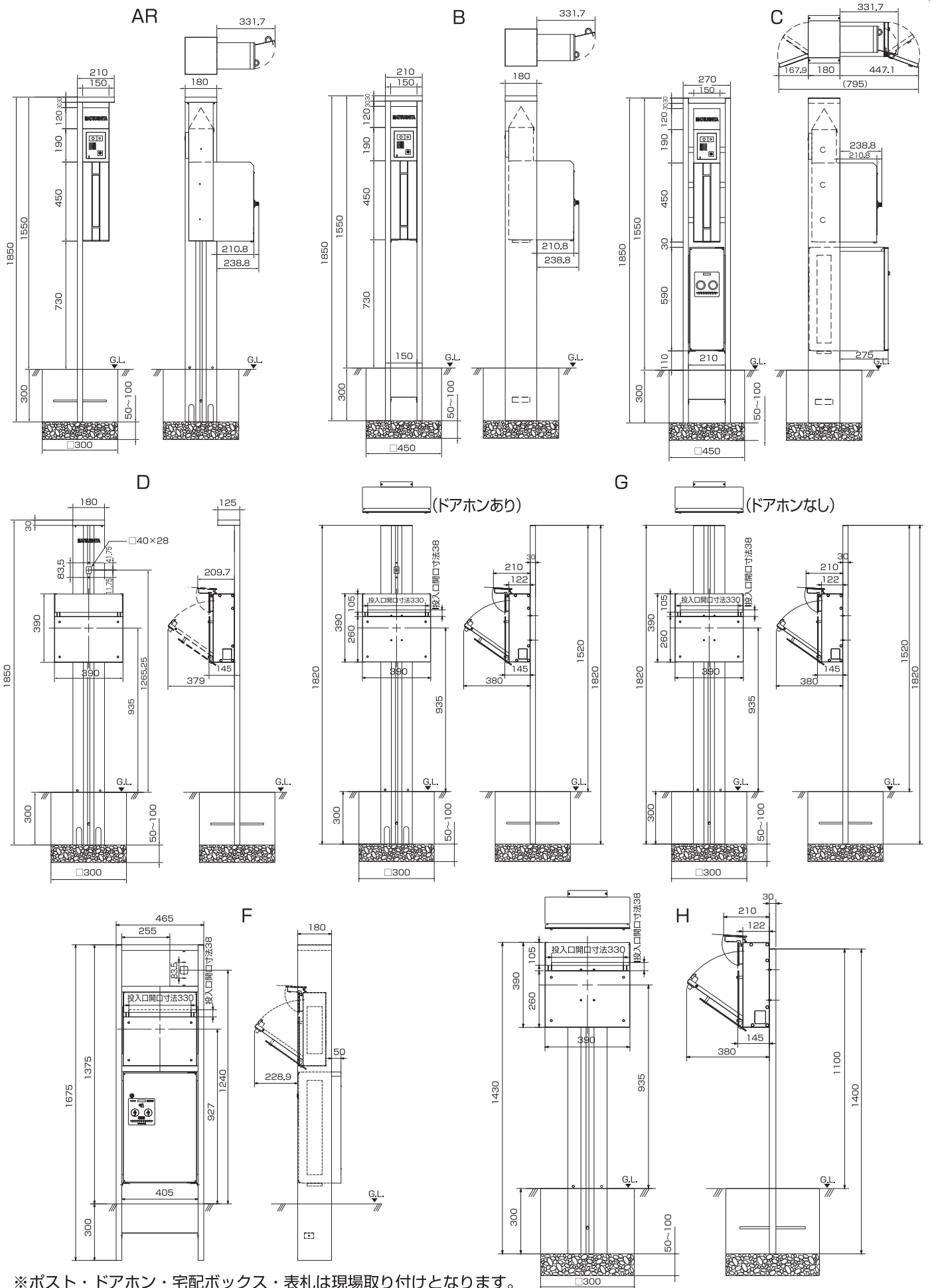
施工後の確認……………12

同梱部品

		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ (受注品)	Fタイプ	Gタイプ	Hタイプ
側化粧パネル		・側化粧パネル 1枚 ・LEDユニット用ねじ M4×8 皿小ねじ D6 2本 ・ポスト/台座用ねじ M4×8 皿小ねじ D6 3本 2コづつ ワッシャナット	各1 Set						
後付商品用 (ポール取付済に 取付ねじ)	ドアホン用 M4×10ステン	各2本							—
	ポスト取付用	各4本							—
	宅配取付用	—	—	本体用 8本 補助金具用 4本	—	—	本体用 8本 補助金具用 4本	—	
	照明取付用	—	—	2本	—	—	—	—	
支柱キャップ		—	2枚	—	1枚 ポール取付済	2枚	1枚 ポール取付済	1枚 ポール取付済	
施工説明書・取扱説明書		各1 (共通)							
表札チラシと注文はがき		1 (共通)							

注) ドアホン、カメラドアホンを取り付けしない場合は、目隠しパネル(別売)を取り付けてください。

製品納まり図 (各部の名称)



※ポスト・ドアホン・宅配ボックス・表札は現場取り付けとなります。

施工を始める前に（「照明」「ドアホン・カメラドアホン」をつける場合）

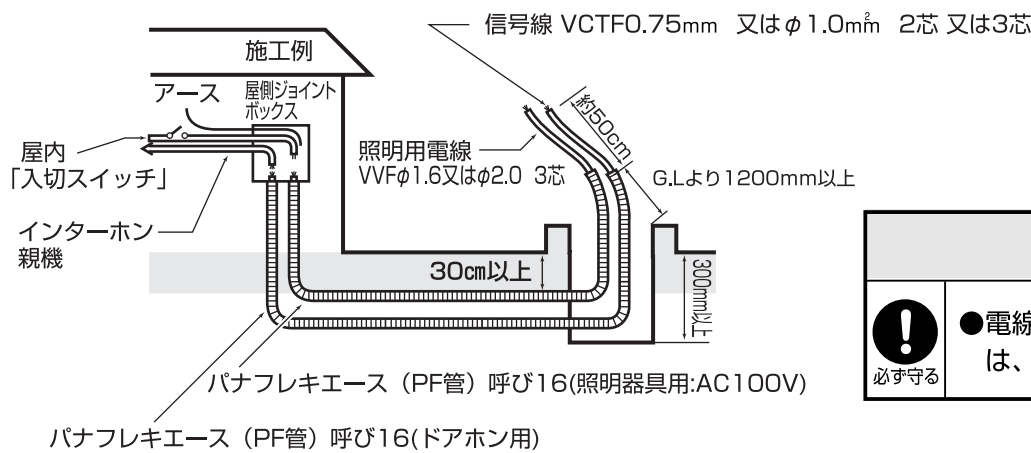
電気配線工事

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 照明用電線は、VVFφ1.6又はφ2.0の3芯単線（アース線含む） 信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、VCTF0.75mm²より線又はφ1.0単線2芯又は3芯を準備してください。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 室内に「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事

- ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



注意



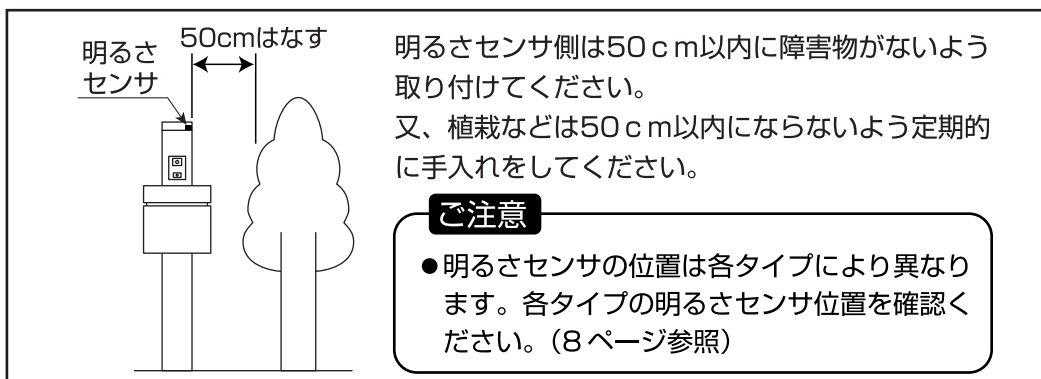
必ず守る

- 電線管（PF管）埋設工事については、内線規定にしたがう

ポール施工前のご確認事項

本商品（Eタイプを除く）は明るさセンサ（自動点滅器）が内蔵されています。次のような場所には取り付けないでください。（明るさセンサ誤動作の原因となります。）

- 昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
- 夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
- 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 天面、側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。（障害物があると部材の交換ができなくなります。）
- 明るさセンサ側は器具側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。（障害物があると点滅を繰り返すことがあります。）



施工手順

ポール本体の施工〈Fタイプを除く〉（ポールとLEDユニットは別梱包となっております。）

① 穴の確保

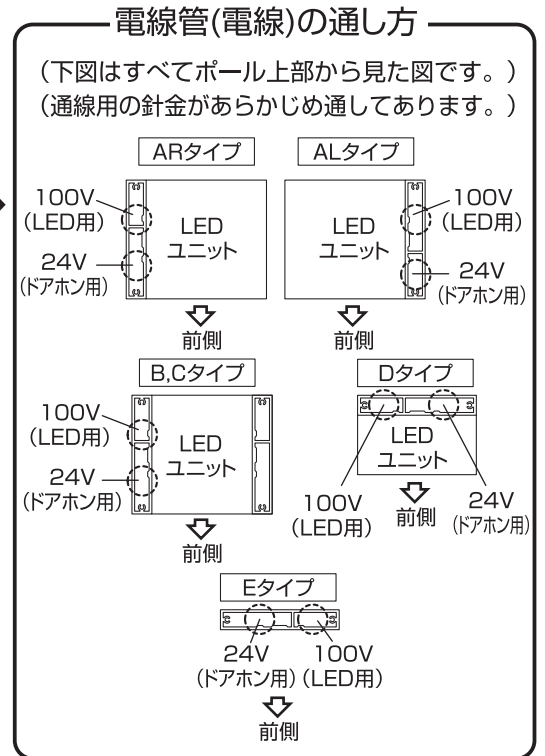
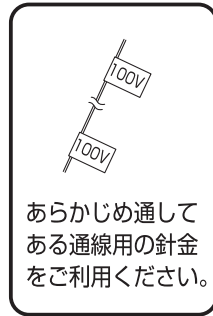
●決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

② 配管工事（❶電気工事店様にご依頼ください）

●ポール内部の決められた高さまで電源線（照明用）および信号線（ドアホン子器用）用PF管をあらかじめ立ち上げておく。（GLより500mm以上）

③ エントランスポール本体を立てる。

- PF管内の電線を引き上げて、照明・ドアホン用の穴に通す。 **右図参照** ➡
- ポールを立て、埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。



④ 埋戻し

●コンクリートで埋戻し固定する。

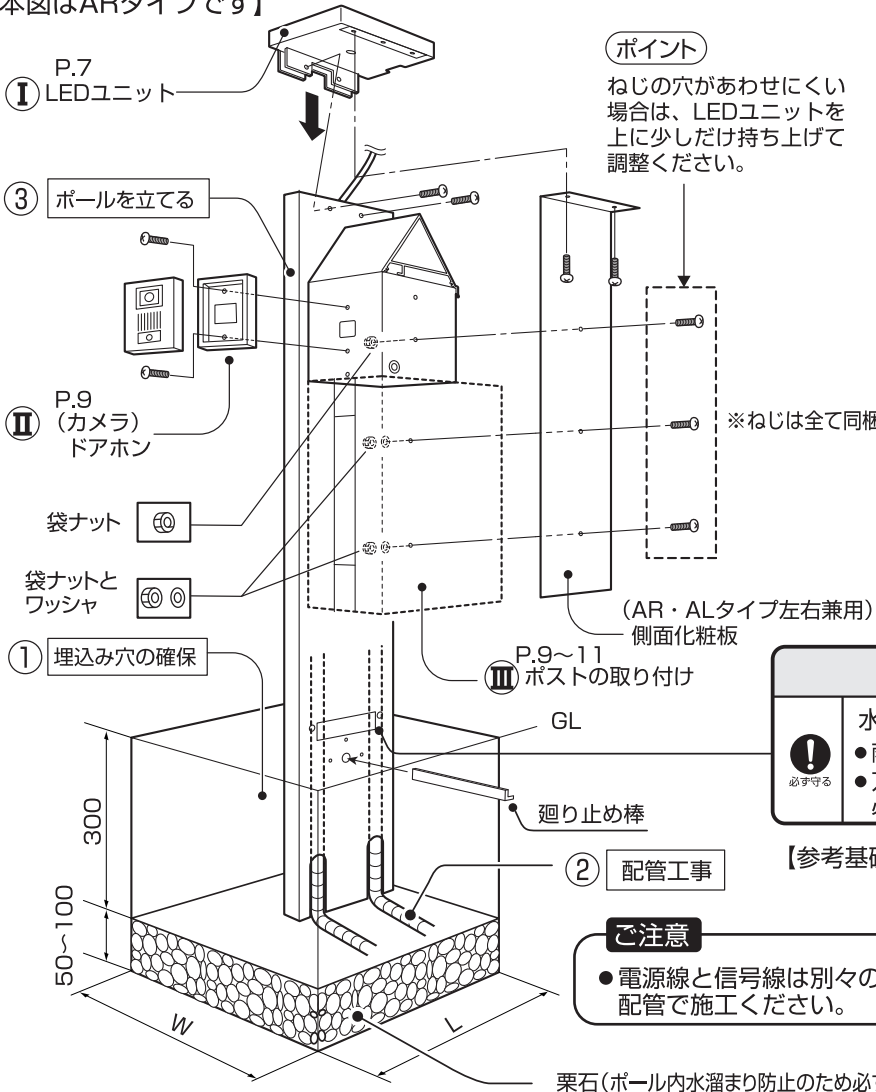
注意

❶ 必ず守る

GLラインより深く埋め込まない

- 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

【本図はARタイプです】



各部位の施工 ➡ P.7～P.11

- ❶ LEDユニットとの結線
- ❷ (カメラ) ドアホン子器への配線
- ❸ ポスト/宅配ボックスの取り付け
(宅配ボックスはCタイプのみ取り付け可能です)

 - ・AR、AL、B、Cタイプ ➡ サインポスト VM (D) 型
 - ・D、Eタイプ ➡ サインポスト フェイサス
 - ・Cタイプ ➡ 宅配ボックス (スリムタイプ)

注意

❶ 必ず守る

水抜き穴をコンクリートや土砂でふさがらない

- 雨水の溜まりにより漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。
- 方が一埋めた場合はGLより上に同一形状で追加の穴を必ずあけてください。

【参考基礎寸法】

	W × L	商品寸法 (柱)
Aタイプ	300×300	30×180
Bタイプ	450×450	210×180
Cタイプ		270×180
Dタイプ	300×300	180×30
Eタイプ		
Gタイプ		
Hタイプ		

ご注意

- 電源線と信号線は別々の配管で施工ください。

単位 (mm)

施工手順

ポール本体の施工〈Fタイプのみ〉（ポールとLEDユニットは別梱包となっております。）

① 穴の確保

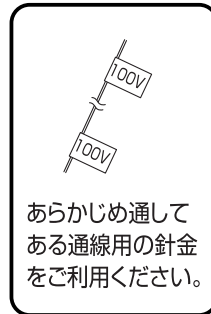
- 決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内水溜まり防止のため、50~100mmの栗石を必ず敷く。

② 配管工事（❶ 電気工事店様にご依頼ください）

- ポール内部の決められた高さまで電源線（照明用）および信号線（ドアホン子器用）用PF管をあらかじめ立ち上げておく。（GLより500mm以上）

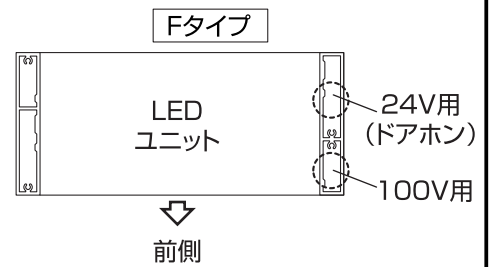
③ エントランスポール本体を立てる。

- PF管内の電線を引き上げて、照明・ドアホン用の穴に通す。 **右図参照** →
- ポールを立て、埋込位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。



電線管(電線)の通し方

(下図はすべてポール上部から見た図です。)
(通線用の針金があらかじめ通してあります。)



④ 埋戻し

- コンクリートで埋戻し固定する。

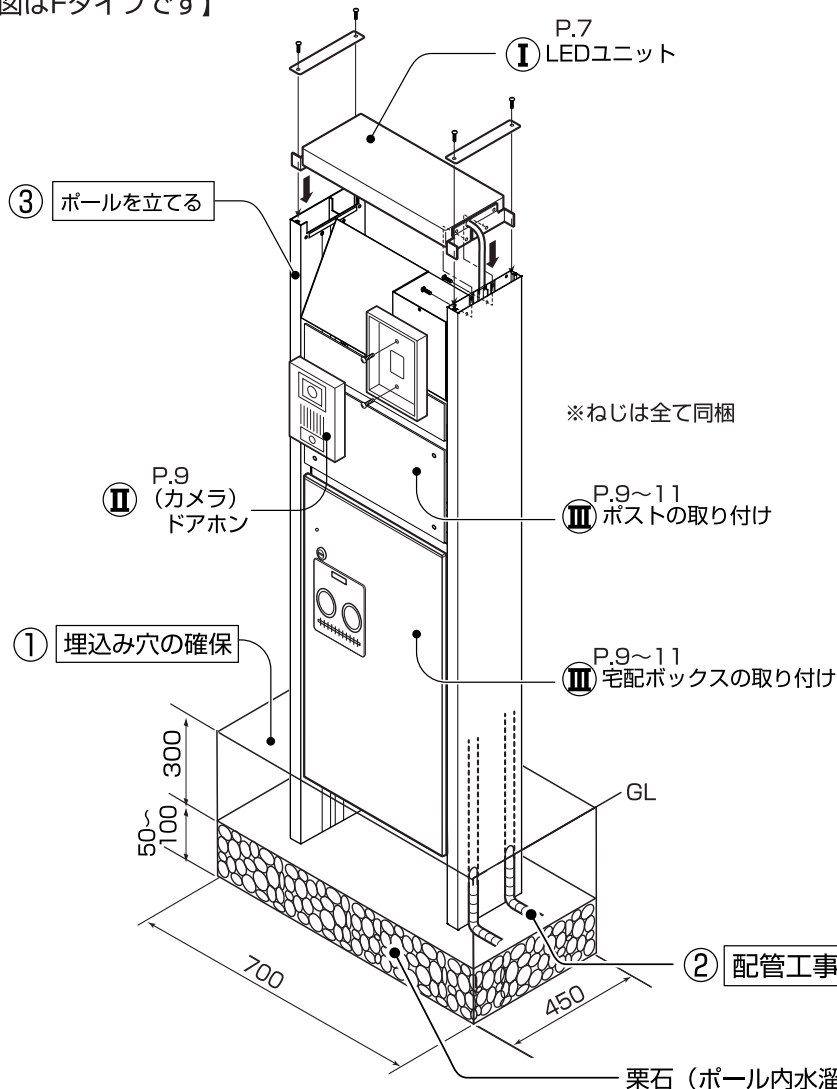
⚠ 注意



GLラインより深く埋め込まない

- 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

【本図はFタイプです】



各部位の施工 → P.7~P.11

- ❶ LEDユニットとの結線
- ❷ (カメラ)ドアホン子器への配線
- ❸ ポスト/宅配ボックスの取り付け
・Fタイプ
→ 宅配ボックス (コンボタイプ)

⚠ 注意



- 水抜き穴をコンクリートや土砂でふさがない
- 雨水の溜まりにより漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。
 - 万が一埋めた場合はGLより上に同一形状で追加の穴を必ずあけてください。

【参考基礎寸法】

	W × L	商品寸法(柱)
Fタイプ	700×450	465×180

栗石（ポール内水溜まり防止のため必ず敷く）

単位 (mm)

施工手順

I LEDユニットとの結線 (50/60Hz共用)

⚠ 接地工事は、電気設備の技術規準に従って確実に行ってください。

⚠ 注意



取付けの際は、安全のため電源を切る
● 通電状態で行うと感電の原因となります。

ご注意

- 電線は確実に奥まで差し込んでください。
- 張力止めで電源線を固定してください。

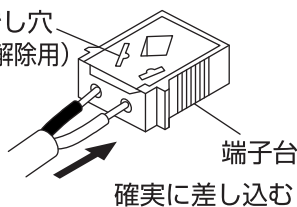
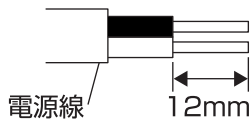
① ねじを外し、下カバーを外す。
(連結金具「中央のねじ」は外さないでください。)

② 端子台に電源線 (AC100V) を接続する。

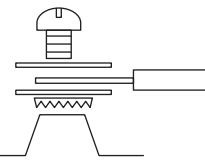
③ アース接地工事をする。

適合電線
VVF φ 1.6、φ 2.0 単線

はずし穴
(電源線解除用)

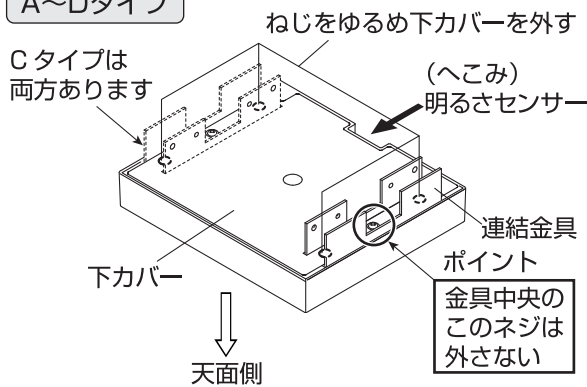


アース

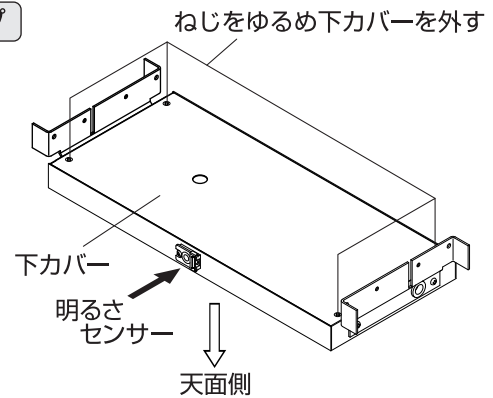


接地端子ねじからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。

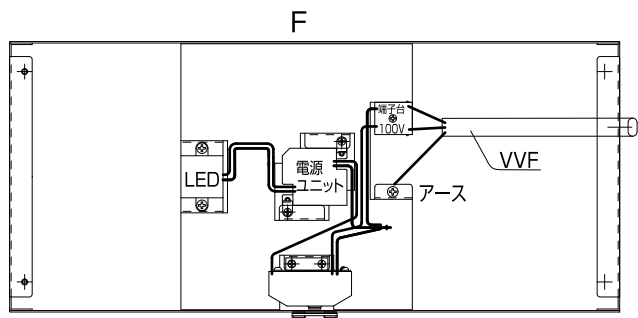
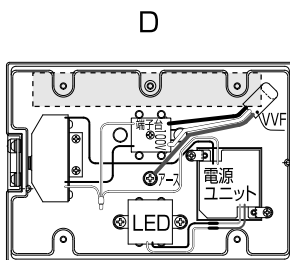
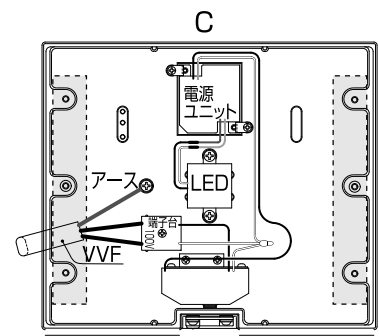
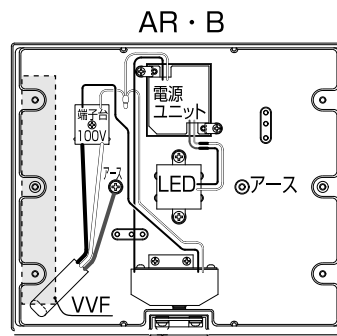
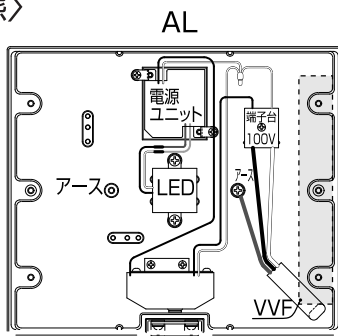
A~Dタイプ



Fタイプ



<配線状態>

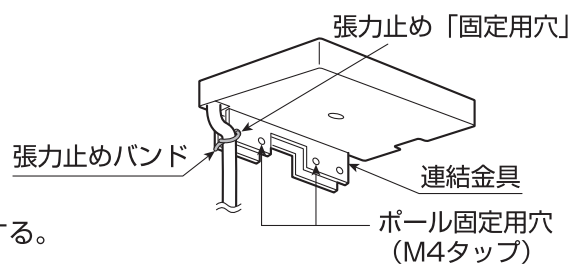


施工手順

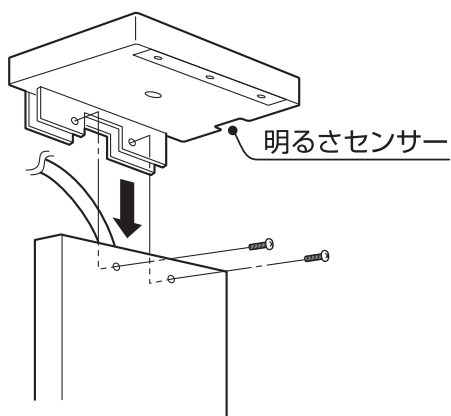
④ ポールへの取り付け

〈A～Dタイプ〉

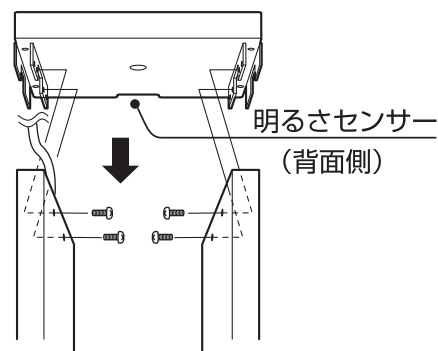
- ④-1 ①で外した下カバーを元にもどしねじで固定する。
- ④-2 張力止め（下カバーに添付）で電源線を連結金具の固定用穴に固定する。
- ④-3 LEDユニットの連結金具をポールに差し込みねじで固定する。



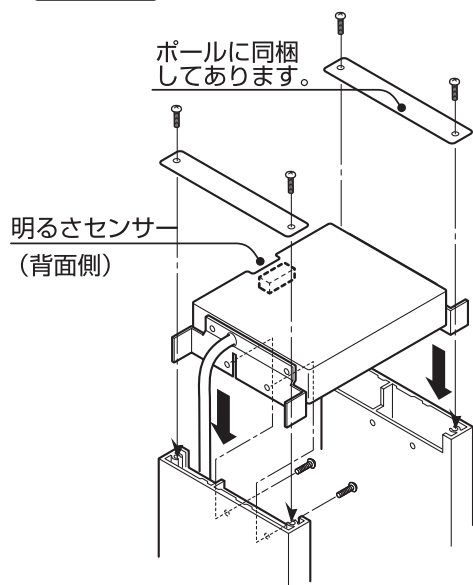
Aタイプ・Dタイプ



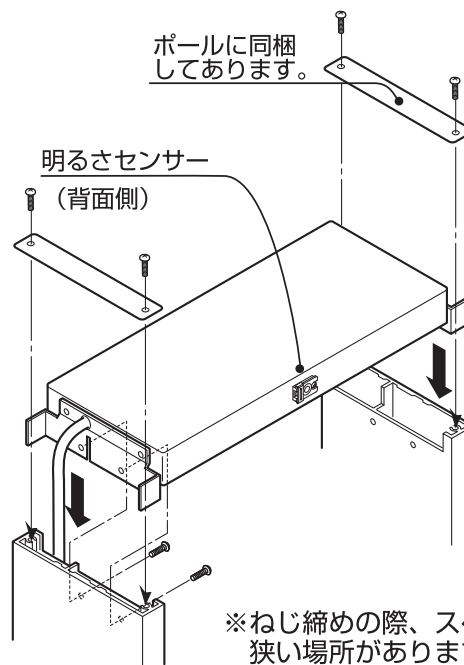
Bタイプ



Cタイプ



Fタイプ



※ねじ締めの際、スペースの狭い場所があります。オフセットドライバーやダルマドライバーをご使用ください。

ご注意

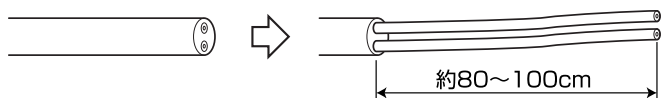
- ねじの締め付け不足にご注意ください。
- がたつきやすき間など故障の原因になります。

施工手順

Ⅱ (カメラ) ドアホン子器への配線

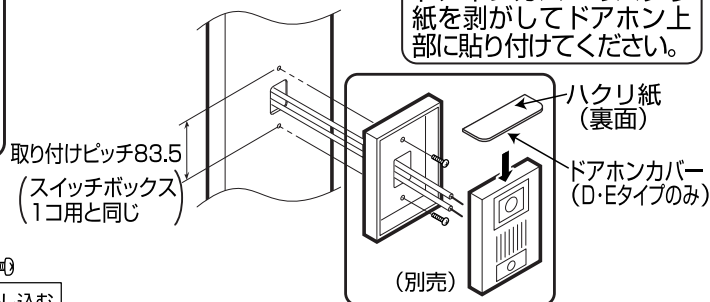
通線をし易くするポイント

コードは、先端部を約80cm~100cm程外皮を取り除いてポール内に配線してください。(2芯又は3芯)



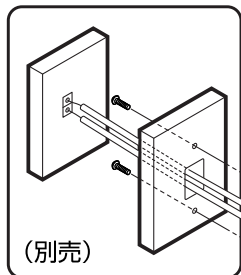
D・E・G (ドアホン有) タイプ

ドアホンカバーの取り付け
ドアホンカバーのハクリ紙を剥がしてドアホン上部に貼り付けてください。

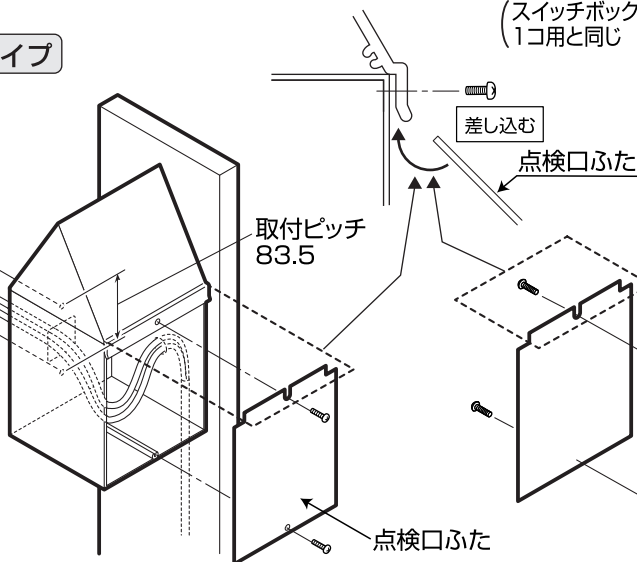


結線はドアホン子器に付属の施工説明書に添って結線してください。

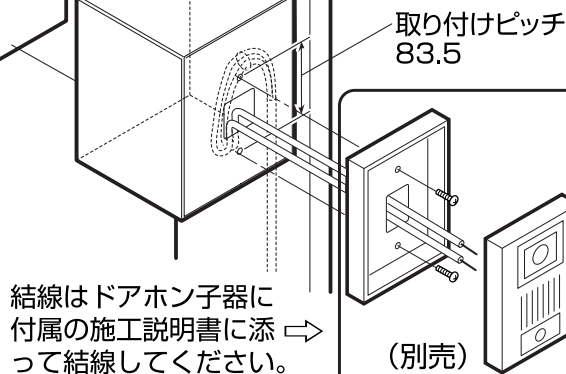
AR・AL・B・Cタイプ



結線はドアホン子器に付属の施工説明書に添って結線してください。



Fタイプ



結線はドアホン子器に付属の施工説明書に添って結線してください。

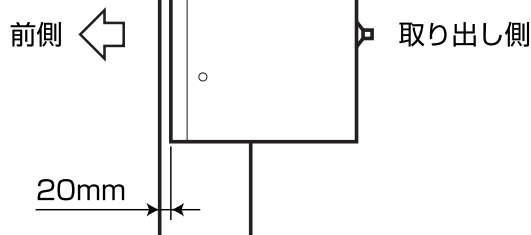
Ⅲ ポスト/宅配ボックスの取り付け

- ① AR、AL、B、Cタイプ……………サインポスト フェイサスVL (別売)
- ② D、Eタイプ……………サインポスト フェイサスFF (別売)
- ③ Cタイプ……………宅配ボックス (スリムタイプ) (別売) + 専用取付アダプター (別売)
が、それぞれ取り付け可能となっております。
- ④ Fタイプ……………サインポスト フェイサスFF (別売)
宅配ボックス (ハーフタイプ) (別売) + 専用取り付けアダプター (別売)

フェイスVLとポールの穴を一致させるポイント

ポールの前面からポスト前面までの距離を20mmで合わせてください。

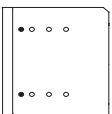
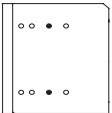
※ 穴があいにくい場合はポストを少しだけ下から上へ押して調整してください。



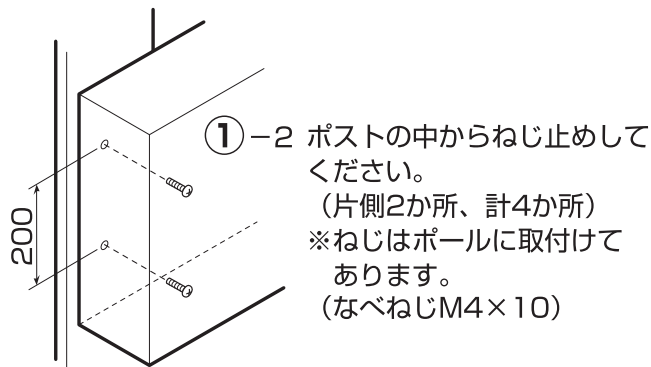
施工手順

① サインポスト フェイサスVLの取り付け方法・・・AR/AL/B/Cタイプ

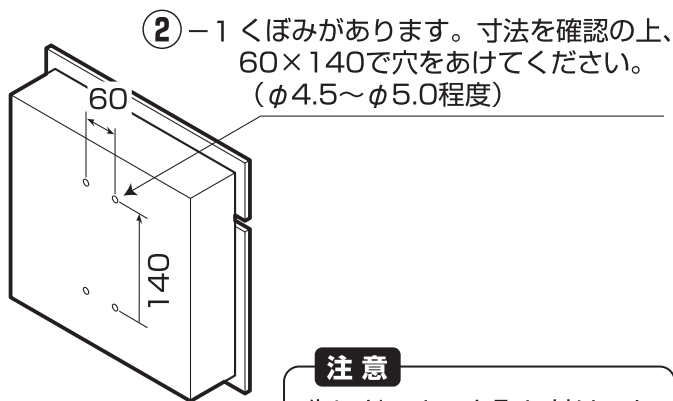
①-1 側面のノックアウト穴を片側2か所
(計4か所) 抜いてください。
(ϕ 4.5~ ϕ 5.0程度)

	アーキフレーム	
前入れ 後出し (CTC2410) (CTC2411)		● 使用 ○ 不使用
前入れ 前出し (CTC2401)		● 使用 ○ 不使用

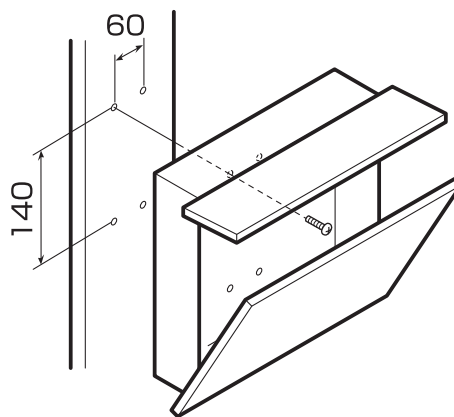
※柱全面より50.5mm前に突出します



② サインポスト フェイサスFFの取り付け方法・・・Dタイプ/Eタイプ/Gタイプ/Hタイプ



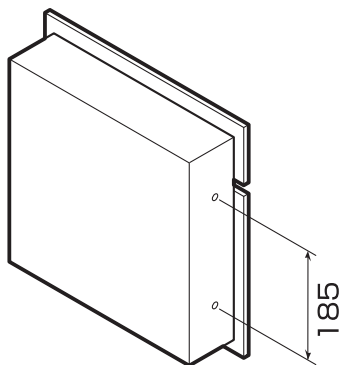
注意
先にドアホンを取り付けてから
ポストを取り付けてください
(ポストを先に取り付ける
とドアホンが取り付けに
くくなります。)



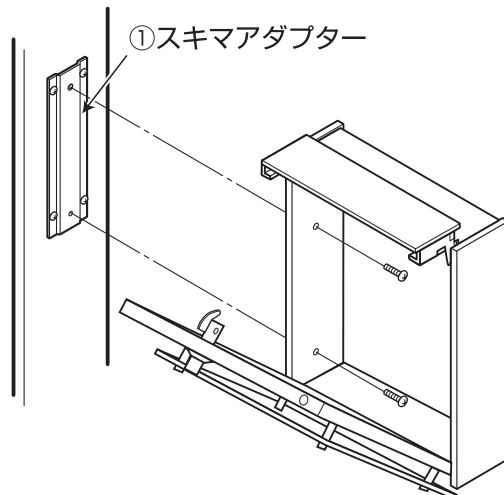
②-2 ポストの中からねじ止めしてください。
(計4か所)
※ねじはポールに取り付けてあります。
(なべねじM4×10)

③ サインポスト フェイサスFFの取り付け方法・・・Fタイプ

③-1 側面のノックアウト穴を片側2か所
(計4か所) 抜いてください。
(ϕ 5.5~ ϕ 6.0程度)



③-2 ポストの中からねじ止めしてください。
(片側2か所、計4か所)
※ねじはアダプターに取り付けてあります。
(トラスねじM4×10)

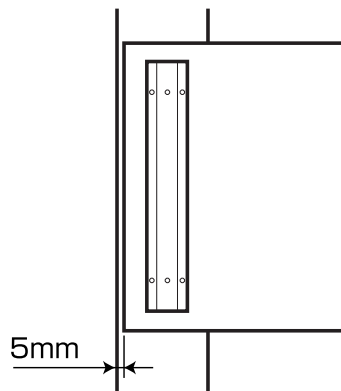


施工手順

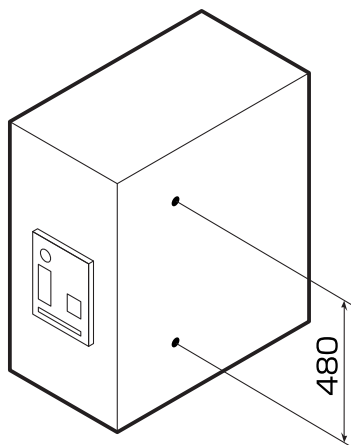
④ 宅配ボックスの取り付け（別売の取付アダプターが必要です。）・・・Cタイプ/Fタイプ

宅配ボックスとポールの穴を一致させるポイント

ポールの前面から宅配ボックスまでの距離を5mmで合わせてください。

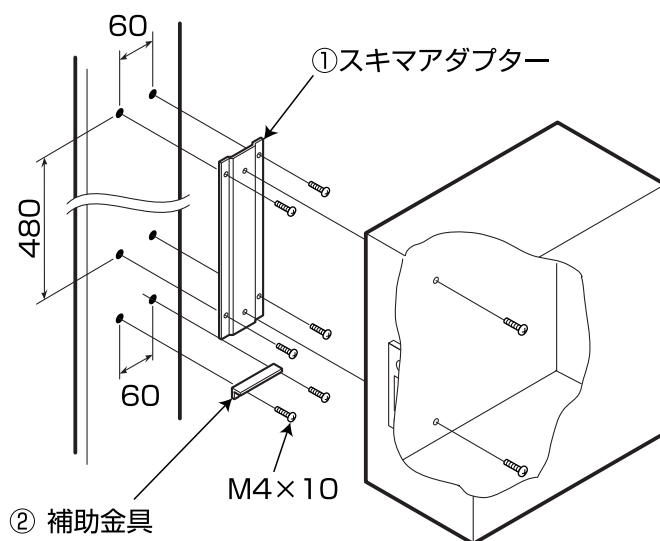


④ -1 側面のノックアウト穴を片側2か所（計4か所）抜いてください。（φ4.5～φ5.0程度）



④ -2 ①スキマアダプター ②補助金具をポールに取り付けしてください。（ねじはポールに取り付け済）

④ -3 ③宅配ボックスの中から①のスキマアダプターにねじで固定してください。

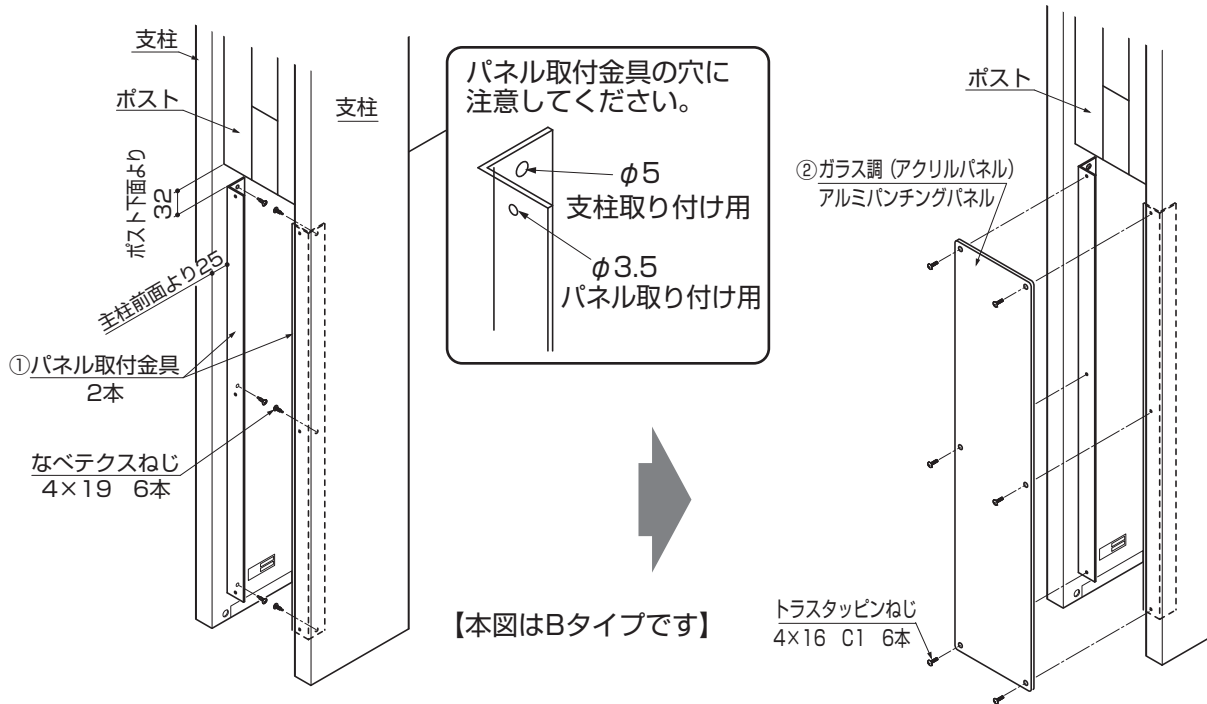


施工手順

Ⅳ オプションの取り付け方法・・・Bタイプ／Fタイプ

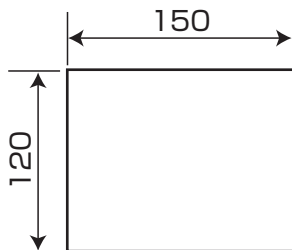
- ① ①パネル取付金具をポールに取り付けしてください。
(なベテクスねじM4×19 計6か所)

- ② ②パネル（アルミパンチングパネル・ガラス調）を
①パネル取付金具に取り付けてください。
(トラスタッピンねじ 4×16 C1 計6か所)

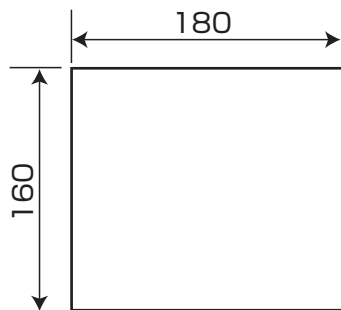


■表札取り付けスペース

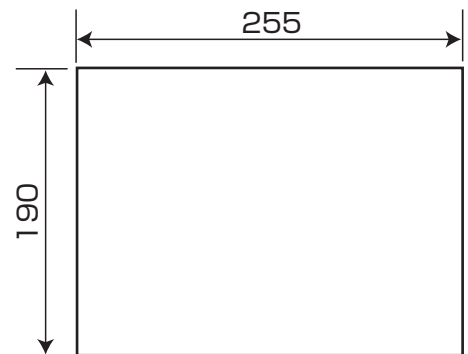
①A～Cタイプ



②D・E・Gタイプ



③Fタイプ



施工後の確認

- 各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- 照明器具（オプション）が点灯するか確認してください。
- （オプション）ドアホン子器・カメラドアホン子器が正常に作動するか確認してください。
【ご注意】 特にカメラドアホン子器については、適正な映像範囲が得られているか、実際に作動し確認してください。
- 宅配ボックスをお取り付けの場合、扉・捺印装置に不都合がないか確認してください。
- 取扱説明書・表札チラシ・ご注文カードをお施主様にお渡しください。

●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック株式会社 外廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012

722-EP166S
K1201-4093